

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 6 年 5 月 15 日

事業所名 放課後等デイサービス まめの木 the 1st

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		勉強をする場合、ロールカーテンで仕切り、集中できるようにしています。	
	2 職員の配置数は適切である	○		指定の基準より多くなるように配置しています。	指定基準の10人に2人の配置より2人ほど多く配置し、より安心、安全に過ごしてもらえようように心がけます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		玄関の段差はなく、入りやすい設定になっている他、洗面などの高さも子どもに合わせた設定になっています。	成長過程にある子どもたちです。配慮は大切ですが、必要以上に配慮しすぎることのないように気をつけながら支援していきます。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		職員全員で個別支援計画、モニタリング、保護者面談など共有し、目標設定を考えています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年に一度の評価表で、保護者のご意見を真摯に受け止めています。	ご意見をいただいた際には職員と早急に対応策を考えます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		HPIにて保護者に公開します。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者による外部評価を行っていません。今後、考えます。
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		毎月1回必ず社内研修をしています。また社外研修も積極的に受けています。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者と面談を行い、それを基に職員間で話し合い児童発達支援計画を作成しています。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		保護者にこちらで用意したアセスメントシートに記入していただき、状況を確認しています。また発達検査などの検査結果も提出していただいています。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		毎日のミーティングでその日に来る子どもに応じてプログラム、支援内容を考えている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節の行事制作、避難訓練の週は同じ内容になりますが、それ以外は毎日変えています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		休日、長期休暇にしかできないこともたくさんあり、その日に来る子どもたちの課題、発達年齢、強みなどを考えながら支援できるようにプログラムしています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		子ども1人1人の状況に合わせて支援計画を作成するために面談、アセスメントなどを徹底しています。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日、ミーティングをして、欠勤の職員にも伝わるように毎日の議事録を残しています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援終了後はその日にあったことを話し合い必要なことは次の日のミーティングで共有しています。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎日のミーティングの議事録、業務日誌、研修時の議事録など記録しています。	
関係機関や保護者との連携	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		6か月に1回のモニタリング、支援計画の見直しをしています。	左記に加え、毎月の経過報告書も記録することになりました。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		「発達支援」だけでなく「家族支援」「地域支援」も必要に応じて設定し、計画に基づいて支援するよう心がけています。	
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		担当者会議が開催される場合、児発管が参画し、それを自社研修時、ミーティング時に職員に伝えています。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校に送迎担当者の顔写真入りの紹介プリント、送迎時間のカレンダー等の配布をしています。また、学校の行事予定など保護者にいただいています。トラブルの発生時は早急に連絡をしています。送迎時間、送迎場所に関しては学校に相談しています。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			対象の子どもはいません。	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		必要に応じて園、相談員さんと相談しながら連携をとっています。	
関係機関や保護者との連携	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			対象の子どもはいません。	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		吹田市の研修だけでなく他市の研修にも積極的に参加し、専門の先生の考え、支援方法を学びながら日々療育に生かすように努めています。	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		放課後児童クラブなどには行っていませんが、公園で出会う子どもたちと一緒に遊ぶなどの交流はあります。	

	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		吹田市の連絡会などすべてに参加しています。	今年度は自立支援協議会に参加していません。来年度から参加します。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳のやり取りの他、何か新たに課題が生じた時、または保護者が困っている時はいつでも連絡しています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		年に2回の保護者会をしています。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明をしています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		必要に応じて悩みをお聞きし、どのようにしたらいいか一緒に考えています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者会をの際、保護者同士でお話する機会も設けています。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		子ども、保護者からの苦情があった場合、職員間で共有し、そのように対策、対応するかを考え、迅速に対応できるように努めています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		1か月に1回程度会報を発行し、子どもたちの様子を伝えていきます。	
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報に関わることは鍵付きの書庫で保管し、注意して扱っています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		障害の有無に関わらず、LINEや電話、会報で情報伝達したり、いつでも連絡をとったりできるようにしています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			地域の方との交流を深めていきたいと考えていますが、学校ですら警備員を配置して行事になる人を制限している時代です。しっかりと職員数を確保し、確実に子どもたちの安全が守られる状態になり次第計画します。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアルは策定しています。また、地震、火災、不審者、感染症などの避難訓練週間を設定し、毎年実施しています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		地震、火災、不審者、感染症などの避難訓練週間を設定し、毎年実施しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待の研修は昨年は3回しました。外部の研修にも参加して、その内容を職員全員に共有しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		身体拘束委員会を設置して、身体拘束についての研修もしています。身体拘束を行うと思われる子どもがいないので記載はしていません。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者よりアレルギーの有無を聞き、職員に共有し、きちんと対応できるようにしています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットを作成し、ミーティング等で職員に共有しています。また、対応をよく話し合い、次につなげるようにしています。	